

講演会のご案内

「あたりまえ」を見つめ直す

～みんなで考える介護と地域～

誰もが自分らしく暮らし続けるために

老若男女
どなたでも
ご参加いただけます

介護は特別なものではなく、
誰の暮らしにも関わる
“あたりまえ”のもの。

本講演では、その「あたりまえ」を
見つめ直し、誰もが自分らしく
暮らせる地域のあり方を
一緒に考えます。

講師 **加藤 忠相氏**

株式会社あおいけあ 代表取締役
慶應義塾大学看護医療学部 非常勤講師 など



東北福祉大学社会福祉学部社会教育学科卒業後、神奈川県内の特別
養護老人ホームに勤務。介護現場に大きなショックを受け、3年後に退職。
25歳の2001年、株式会社あおいけあを設立し、グループホーム結、
デイサービスいどばたの運営を始める。
2007年からは“小規模多機能型居宅介護おたがいさん”の運営を
開始し、2014年には『かながわ福祉サービス大賞～福祉の未来を開く先
進事例発表会～』において大賞を受賞。“あおいけあ”をモデルとした
映画『ケアアニ～あなたでよかった～』『僕とケアアニとおばあちゃんたち
と。』等の映画化にも携わる。NHK『プロフェッショナル～仕事の流儀～』
等、数多くのメディア出演も果たす。
2019年2月には、Ageing Asia Global Ageing Influencer
2019(アジア太平洋地域の高齢化に影響を与えている最も影響力のある
指導者)に選ばれた。

日時 2026年7月11日(土)
13:30～15:30(開場 13:00)

会場 錦江町文化センター2階大会議室
(錦江町城元910)

対象 どなたでもご参加いただけます
(地域住民、家族、学生、関心のある方など)

定員 120名(先着順)

参加費 **無料**

お申込み方法

右のQRコードまたは
お電話でお申込み
ください。



申込締切 7月6日(月)まで

お電話での申込み・お問い合わせ

0994-22-3030
(平日8:30～17:00)

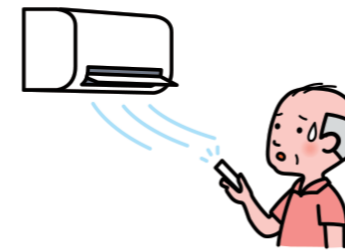


お問い合わせ 錦江町役場 介護福祉課 地域包括支援センター
☎ 0994-22-3030

熱中症予防のために

暑さを避ける!

エアコン等で
温度をこまめに調節



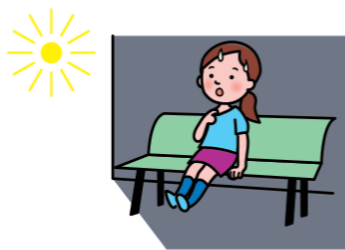
遮光カーテン・すだれの
利用、打ち水の実施



外出時には日傘の使用、
帽子の着用



天気のよい日は
日陰の利用、こまめな休憩



吸湿性・速乾性のある
通気性のよい衣服を着用



保冷剤、氷、冷たいタオル
などで、からだを冷やす



「熱中症警戒アラート」発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

こまめに水分を補給する!

室内でも、外出時でも、
のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分を補給



熱中症とは

「熱中症」は、高温多湿な環境下で、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、場合によっては死亡することもあります。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症予防のための
情報・資料サイト

厚労省 熱中症予防

スマートフォンでも見られます

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/



第2回

鹿児島なんぐう錦江町ツアーが開催されました

5月15日から17日にかけて、「第2回鹿児島なんぐう錦江町ツアー」が開催されました。このツアーは、地域活性化センター神川のサテライトオフィスに入居する ONDO Inc. が主催し、参加者たちは本町のお試しワーケーション制度を活用して来町。新たな関係人口の創出をねらいとしたツアーです。

4月に行われた第1回は全国の経営者を対象にしたものでしたが、今回は ONDO Inc. とつながりのあるアーティストやクリエイター、出版社、コンサル会社など、全国各地から16名が参加。業界や肩書きはさまざまですが、熱い思いを持った方々が集まりました。

町長による本町のまちづくりについての講話



ONDO Inc. 神川サテライトオフィス



アーティスト・イン・レジデンス拠点視察



花瀬川視察・記念撮影

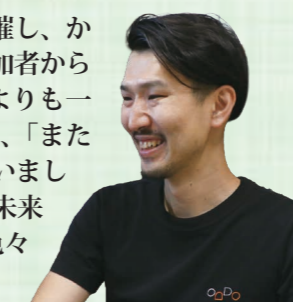


妄想会議

参加者たちは、神川大滝や花瀬川、旗山神社など町内の観光名所を巡ったほか、葉たばこ農家や茶農家の方々との交流、地域おこし協力隊 OG の伊藤愛さんや大井和鼓さんの活動拠点等を視察しました。

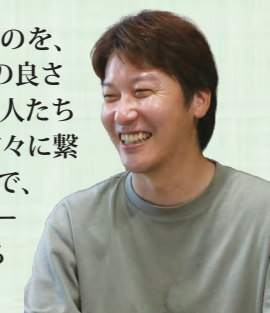
また、各自の活動を錦江町にどう活かしていきたいか、錦江町でどんなことを叶えたいかなどを参加者で語り合う「妄想会議」を開催。東京から参加した書家の華鶴さんは「手つかずの自然や風景、新鮮な食に感動した。ここでの暮らしは豊かだと思う。何か小さくても、錦江町でできることに挑戦してみたい」と語りました。

第1回目のツアーを4月に開催し、かなり手ごたえを感じました。参加者から「錦江町はこれまで行ったどこよりも一番よかった」との声をいただき、「また来たい」と参加者全員が言っていました。私たちのやりたいことは「未来の価値をつくること」。もっと色々な人を巻き込んでいきたいです。



ONDO Inc. 代表取締役 CEO 鳥山郷さん

私たちは、とにかく「いいものを、いい人に知ってほしい」。錦江町の良さや、町の未来を真剣に考えている人たちの熱い思いを、共感してくれる方々に繋いでいきたい。錦江町を知った上で、町のために何かできるパートナーを見つけて繋いでいくのが私たちの使命かなと思っています。



ONDO Inc. 取締役 COO 藤本剛さん

ミャンマー伝統文化を通じた多文化共生

水かけ祭りで
広がる交流の輪

Myanmar Water Festival

2026年4月26日(日) | 錦江町総合交流センター・漁民研修センター

当日は、ベトナム、カンボジア、インドネシア、ミャンマー、フィリピンなど、様々な国から約70人が参加しました。日本人住民や受け入れ事業者の皆さまも加わり、国籍を超えた交流の輪が広がりました。

01 | 笑顔あふれるレクリエーション
子供から大人まで一緒に楽しめるゲームで、会場は笑顔と歓声に包まれました。



バランスゲーム



ビー玉リレー

02 | BBQで深まる交流
みんなで囲んだBBQは、会話も笑顔も自然と広がるあたたかな一時になりました。



03 | 歌声と舞踊で大盛り上がり
美しい歌声と躍動感あふれる舞踊が披露され、会場は終始盛り上がりを見せました。



カラオケ



盛り上がる風景

VOICE ミャンマー出身国際交流員からのメッセージ



ミャンマー国際交流員
オウンマー・ミイツさん

心が温かくなり、
安心感やなつかしさを
感じました。

ミャンマー人にとって大切な水かけ祭りを錦江町で皆さんと一緒に楽しむことができ、とても嬉しく感謝しています。

海外にいながら水かけ祭りを祝うことができ、心が温かくなり、安心感やなつかしさを感じました。

皆様にとって2026年が素晴らしい一年になりますように！

多文化共生の錦江町へ

今回のイベントは、外国人住民同士のつながりを深めるだけでなく、日本人住民との交流を通じて、多文化共生への理解を深める貴重な機会となりました。今後も、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、様々な交流イベントを開催していきます。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

政策企画課 国際交流員 アイン、ミイツ